

# SDGs未来都市等進捗評価シート

2019年度選定

愛知県豊橋市

2022年8月

**SDGs未来都市計画名**

自治体SDGsモデル事業  
又は特に注力する先導的取組

豊橋市SDGs未来都市計画

～豊橋からSDGsで世界と未来につなぐ水と緑の地域づくり～

—

## 1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

## (1) 計画タイトル

豊橋市SDGs未来都市計画～豊橋からSDGsで世界と未来につなぐ水と緑の地域づくり～

## (2) 2030年のあるべき姿

- 豊川水系でつながる東三河地域の水環境及び森林環境が持続可能な活動や教育等により保全されている  
 ○「現在から未来へ」「豊橋・東三河から世界（開発途上国）へ」水道技術が継承され、安全・安心な水が安定的に供給されている

## (3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール



## (4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年（現状値）		2030年（目標値）		達成度（%）
1	安定給水率【8.3, 8.5, 9.1, 9.4, 11.1, 11.b】	2019年3月 100 %	2021年	100 %	2030年	100 %	100%
2	水と緑に係る国内外の支援自治体数【17.16, 17.17】	2019年3月 3 自治体	2021年	6 自治体	2030年	9 自治体	67%
3	530運動等参加者数【3.4, 8.5】	2019年3月 175,914 人	2021年	115,306 人	2030年	200,000 人	58%
4	ユネスコスクール認定小中学校数【4.1, 4.7, 12.5, 12.8】	2019年3月 75 校	2021年	75 校	2030年	75 校	100%
5	大気等環境基準達成率【6.1, 6.2, 6.4, 6.6, 6.a, 7.1, 7.2, 12.5, 12.8, 14.1, 14.2, 14.3, 15.2, 15.4, 15.5, 15.b】	2019年3月 90.4 %	2021年	90.7 %	2030年	96 %	94%
6	温室効果ガス削減量（2005年比）【13.1, 13.2, 17.16, 17.17】	2019年3月 ▲ 7.3 %	2021年	▲ 1.2 %	2030年	▲ 25.4 %以上	-
7	水と緑に係る国内外の支援自治体数【13.1, 13.2, 17.16, 17.17】	2019年3月 3 自治体	2021年	6 自治体	2030年	9 自治体	67%

## (5) 「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

- ・530運動等参加者は目標値と比較すると大幅に少ないが、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が大きな要因である。今後も、新型コロナウイルス感染症に配慮しつつ、530運動実践活動への参加を呼び掛けていく。
- ・水と緑に係る国内外の支援自治体数は目標達成に向け、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を注視しつつ、必要な対策を講じながら支援を進めていく必要がある。
- ・温室効果ガス削減量については基準年度と比較して削減しているが、目標値からは大きく離れている。今後は、再生可能エネルギーの導入をはじめ、温室効果ガスの削減に寄与する施策を市民・事業者・行政が一体となって取り組む必要がある。
- ・大気等環境基準達成率は大気・水環境ともにおおむね良好な状態が保たれている。しかしながら、渥美湾のCOD（化学的酸素要求量）など一部の調査項目で環境基準を達成できておらず、引き続き事業場への監視・指導を行いつつ、大気・水環境のモニタリングによりその改善を継続的に確認する必要がある。

## 1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2019年～2021年

## (1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2019年実績	2020年実績	2021年実績	2021年目標値	達成度(%)
1	地域や開発途上国での様々な協力活動の推進	水と緑に係る国内外の支援自治体数	2018年度 3自治体	2019年度 6自治体	2020年度 6自治体	2021年度 6自治体	2021年度 7自治体	86%
2	環境教育や環境美化活動等の推進	530運動等参加者	2018年度 175,914人	2019年度 177,270人	2020年度 38,707人	2021年度 115,306人	2021年度 185,000人	62%
3	地域資源の利活用による再生可能エネルギーの生産	バイオガスエネルギー利用率	2018年度 100%	2019年度 100%	2020年度 100%	2021年度 100%	2021年度 100%	100%

## (2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

・市とともに豊橋市の地域課題の解決や目指すゴールの達成に向けて連携する企業・団体を登録する「豊橋市SDGs推進パートナー」制度を構築し、持続可能な取組や活動を推進しており、令和4年9月1日現在360企業・団体が登録している。パートナーの具体的な取組事例を学び合う、交流会を開催したり、未来を担う若者が豊橋市の目指すまちの姿とSDGsについて調べ、考え、行動し、その活動を応募する「豊橋市高校生SDGsチャレンジ」活動の「パートナー賞」の授与を行った。

・下水処理場で発生する下水汚泥と家庭から排出される生ごみ等を資源とする複合バイオマスを活用して発電する事業に取り組み、一般家庭1890世帯分の電力を創出するシステムを構築。

・「ごみを拾うことでごみを捨てない心をはぐくむ」ことを目標として、保育園等への幼児環境教育訪問指導をはじめとした若年層への啓発を積極的に行うことで、環境美化の向上につなげている。

## (3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

・水と緑に係る国内外の支援自治体数は目標達成に向け、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を注視しつつ、必要な対策を講じながら支援を進めていく必要がある。【再掲】

・530運動等参加者は目標値と比較すると大幅に少ないが、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が大きな要因である。今後も、新型コロナウイルス感染症に配慮しつつ、530運動実践活動への参加を呼び掛けていく。【再掲】

・豊橋市バイオマス利活用センターは地域資源の利活用を目的に「豊橋市バイオマス資源利活用施設整備・運営事業」として整備し運営している。この施設は、下水汚泥、し尿浄化槽汚泥、生ごみを集約し、再生可能エネルギー100%化を目標とし、順調な稼働を維持している。今後も、適切なモニタリング及び市民のゴミ分別の協力のもと、施設の安定稼働を継続し目標値を達成していく。

## (4) 有識者からの取組に対する評価

・水と緑の環境に主眼をおいた先進的な構想であり評価できる。

・経済価値と社会価値を追求する取組を具体的にし明確にされることを期待する。高度な水道技術やバイオマスなどの経験・知見を活用して産業を創出し、自律的好循環に導く有能なプロデューサーが必要であると思料する。

・豊橋市らしい特徴を盛り込み、より具体化したSDGsの取組を推進することを期待する。